

## 事業所職員向け

## 児童発達支援自己評価表

公表:令和6年 3月 28日

事業所名 松戸市こども発達センター 通園施設

		チェック項目	はい	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	43	0	
	2	職員の配置数は適切であるか	41	2	・子どもの状況に応じて職員補充を行い、安心して過ごせるようにしています。そのため、職員間の声かけを意識するよう周知しています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	42	1	・収納場所の制限等、設備上難しいこともありますが、安全安心な環境づくりが今後も課題です。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	41	3	・空調の切り替え時期の検討、窓への遮熱、遮光シートの貼用などについて、検討しています。 ・廊下のテーブル周囲については、日々、整理整頓を行うよう、職員に周知しています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	44	0	・昨年度作成された業務のマニュアルを活用しながら、各業務担当が中心となり、業務改善をすすめています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	44	0	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	43	0	

	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	43	0	・今年度12月に実地指導が入り「おおむね良好」の評価を受けています。結果を職員で共有し、業務改善を行っています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	44	0	・研修担当が中心となり、毎年、職員からのアンケートをもとに内容の検討、実施をしています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	41	0	・必ず担任間で打ち合わせを行い、子どもの姿、発達に合わせた目標を設定しています。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	36	4	・年2回、発達の状況の作成や、日々の個人記録をもとに、子どもの状況を把握しています。 ・日々、相談診療部門の専門職と連携し、支援会議においても情報共有しています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	41	0	・児童発達支援ガイドラインを全職員に配布し、各自で確認しながら支援しています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	41	0	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	40	0	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	40	0	・クラス打ち合わせや、日々の振り返りで活動内容を検討しています。 ・各クラスの困難事例については、全体の職員打ち合わせにおいてケース検討をして支援方法について話し合っています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	40	0	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	41	0	

関係機関や保護者との連携	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	41	0	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	42	0	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	41	0	・年2回以上の面談を行い、保護者と確認しています。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	42	0	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	43	0	・必要時、保健センターの保健師や子ども家庭センターのケースワーカー等と情報共有しながら支援を行っています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	39	1	・サービス担当者会議に出席し、関係機関と連携して支援を行っています。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	43	0	・通園独自の指示書をもとに、関係機関と連携をとっています。
25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	42	0	・移行の際には、児の状況について、園と共有する時間を設けています。 ・必要に応じて、保育所等訪問、併行通園も活用して情報共有をしています。	
26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	42	0		
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	44	0	・研修を受けられる人数は限られているため、全職員が研修を受けることは難しいが、参加した職員の報告を通して研修内容を周知しています。 ・児童発達支援センターは他事業所を対象に研修やアドバイスをする立場にあります。主催ではないですが地域交流研修会は他事業所の従事者を対象に毎年開催しています。来年度以降は主催での開催が求められます。	

	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	14	28	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で交流の機会がなくなったが、次年度より、業務担当を決め、再開していく方向で検討しています。</li> <li>・歌のおもちゃ箱や園外保育の際は積極的に地域の人とふれあう機会を設けていきたいと考えています。</li> </ul>
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	43	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども部会は月1回、子ども子育て会議は年3回参加しています。会議記録を全職員に回覧し、必要に応じて口頭で伝達をして共通確認をしています。</li> </ul>
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	44	0	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	37	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員が「ペアレント・トレーニング」の技法であるティーチャー・トレーニングを学び、子どもに関わっています。保護者からの希望もありますが、専門職、予算が必要なため、実現可能か、今後も検討していきます。</li> </ul>
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	42	0	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	42	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年、新入園児説明会において、運営規程、利用者負担の説明を行っています。</li> <li>・「児童発達支援計画」については、保護者との面談の中で、説明を行い、同意を得ています。</li> </ul>
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	43	0	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	44	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々なご家庭の背景があり、無理のない活動の支援をしています。</li> </ul>

非常時等の対応	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	44	0	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	43	0	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	44	0	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	44	0	・視覚や聴覚に働きかけた物(絵カードやタイマー)を用いて子どもにとって見通しが持てるようにしたり、視診時やその場にあった子どもの状況に合わせて意思疎通が図れるように今後も工夫していきます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	35	7	・今年度から障害者週間記念事業も再開され、健康福祉会館として取り組んでいる活動があり、通園の職員も関わっています。(親子DEひろば、地域交流研修会、うたのおもちゃばこ等) ・民生委員からの要望により講座を開催し、動画や資料をもとに事業の説明を実施し、時間帯によっては通園施設内を案内しています。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	44	0	・事業所継続計画の策定にあたり、各マニュアルの見直しをおこなっており、次年度に向けて、訓練内容等も見直しています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	44	0	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	44	0	・他機関利用記録や連絡帳等を通し、保護者に確認しながら、各職員間で共有しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	44	0	・毎年、アレルギー指示書を提出してもらい、栄養士、看護師、保育士間で内容を確認しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	44	0	・ヒヤリハットが発生した際には、すぐに改善策までのヒヤリハットを作成し、全体への伝達、回覧を実施しています。
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	44	0	虐待防止委員会を設置し、マニュアルに沿って研修を行ったり、子どもや自身のセルフチェック等を行ったりしています。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	43	0	やむを得ず身体拘束を行う場合を想定し、保護者に説明をし、個別支援計画に記載しています。また、身体拘束を行った時は記録に残しています。	